

ありたい姿

- うちの町がいちばん!!
～つながりづくり～
つながり1番!!のまち



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	町会の会館の活用 (誰もが使いやすい、開かれた場をつくる)
	交流の場	お寺で定期イベントを開催 (お茶会など、集まりやすいイベントをお寺で開催)

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	個人個人の得意領域・事項を提供し合える仕組みづくり
	地域人材の育成	デジタル活用のためのお助け隊
2	見守り・支え合い	地域のお助け隊を結成
		SNSを利活用して助け合いを実施
4	防災	合同防災訓練の実施
		親子が参加しやすいワクワクする防災イベント (炊き出しがある、消防車等に乘れるなど)

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報(発信、共有、デジタル化)	小・中学校の行事等の情報を回覧 (行事をきっかけに子どもたちに声をかけられる、親近感がもてる)

○「協働」&「時間がかかる」

意見なし

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	地域の活動を具体化する際の相談窓口の設置 (地域・住民と市役所担当課等をつなぐハブの役割を担う)
3	スポーツ・文化・生涯学習	地域運動会・スポーツ大会の開催
		市内プロスポーツ選手によるスポーツ教室の開催
		市内大学生と小・中学生が参加するスポーツイベントの開催
		デジタル利活用のための教室の開催

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	定期的に地域住民が集まりやすい場所づくり
		空き家を改装して地域のコミュニティスペースとする
		多世代が学校に集まることを可能にする
1	交流の場	夏休みの宿題等を地域の人が見てあげられる場づくり (高齢者と子どもの交流促進)
		2

校区の特徴

- 時代の移り変わりとともに、子ども会や地域の運動会などの住民同士が集まる機会が無くなってきているものの、昔ながらのつながりが残っており、このまちが住み続けたい1番のまちであるという意見があった。
- 子どもやその親世代等、多世代が交流するきっかけとなるイベントや場所をつくることで、つながりが生まれるのではないかという意見が多くあった。
- デジタルの活用や地域内に行政の相談窓口の設置等を望む声があった。

ありたい姿

- 懐かしさと新しさが混じりあう
誰でも居心地よく楽しく交流できる
住みよいまち



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	コロナ前に実施していた地域交流イベント（地域サロン、夏まつり、文化祭等）や地域活動（パトロール）などの再開
	情報（発信、共有、デジタル化）	回覧板のSNS化
	交流の場	大学生等が、幼児や小中学生に勉強を教えたり、一緒に遊んだりする場づくり
2	子ども・子育て	子育て中のお母さんの息抜きの場づくり（ヨガ、料理教室、昔遊び）
3	学校・教育	小・中学校合同のイベントの開催
4	公園・緑地	片倉城跡公園の利用促進に向けたPR活動

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	小学校、神社、町会会館等の馴染みのある場を活用した世代間を繋ぐ寺子屋の開催（学びと食）
3	スポーツ・文化・生涯学習	各世代への教育支援の確立

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域づくりの処方箋（地域カルテ）を作成及び見える化

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	人財と人財を繋ぐコーディネーターの設置
	情報（発信、共有、デジタル化）	地域の人財情報を集約するデータバンクの作成
	行政運営	地域住民がやりたいと思っていることを形にするためのサポート体制づくり（費用・制度の充実）
4	公園・緑地	地域住民が望む公園の整備

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	リモートを活用した、お年寄りの孤立を防止するための新しい交流の仕組みづくり
	行政運営	人口減少にあわせた市民生活を支える行政運営の充実
4	交通インフラ	コミュニティバス「はちバス」の運行の拡充
	都市計画・居住環境	道路整備・街づくりにおける住民と行政との連携・話し合いの場づくり

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	小学校等を中心とした公民館の分館や事務所機能等の集約
		空き家を活用した地域の様々な拠点づくり
4	防災	電柱の地中化による災害に強い街づくり
	交通インフラ	高齢者や子育て世代、障がい者等に配慮した段差のない歩道の整備
	都市計画・居住環境	集約型施設の土地確保・施設誘致

校区の特徴

- 「地域主体」&「すぐにできる」が多く挙げられ、地域で主体的に課題解決に取り組む意向ある。
- 誰もが安心して暮らせるように顔が見える関係性づくりを重視し、多世代や様々な立場の人たちの交流を目的としたイベント開催や場づくりを求める意見が多くあった。
- まちづくりへの住民の参加意欲は高く、行政との話し合いの場や取組方針の事前共有などを望む声があった。
- 行政に対しては、道路のバリアフリー化やインフラの整備など、地域には担えない場所や予算の確保、制度整備を期待する声が多くあった。

ありたい姿

- いろいろな人がゆるやかにつながれるまち
- 七国の人人がゆるやかにつながれるまち
一子ども、お年寄り、現役世代、外国人、障害者、大学生、LGBT-



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

★ 2グループで共通して挙げられた意見

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域での活動や発信、すぐ動ける協力体制づくり 地域協働グループを作るよう地域に働きかける
	交流の場	自治会館を利用した交流機会の創出 町会行事をはじめとした交流イベントの充実 小学校でのコミュニティの場づくり
3	学校・教育	地域運営学校をもっとアピールする 卒業生も参加する学校の周年行事の実施
4	防災	七国中学校区全体が連携した防災訓練の実施 (中～大学生が主体となる場面を増やす)

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	次世代への地域の担い手としての引き継ぎ
	大学・学生との連携	学生と地域が連携したDonDon祭り(子ども祭り)の復活
1	情報(発信、共有、デジタル化)	地域の理想的な暮らしに向けた情報共有・発信 (メディア活用、アンケート実施など)
		オンラインの活用による情報発信 (例:大学生がインターネット(スマホ)を教えるオンラインサロン)
2	見守り・支え合い	「地域のお困りごとを聞きます!」助け合いの仕組みづくり (例:地域通貨やポイント制の導入)
3	子ども・子育て	地域内の大人が子どもたちの人間力を育むイベントの実施(例:1日〇〇体験)

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	場としての学校開放(例:毎週日曜日) (勉強、遊び、ゲーム、子ども食堂など、自由度の高い利用)
		学校の交代制(3ヵ月に1回ペース等)による場としての運営 (学生チーム、大人チームなど)
3	学校・教育	君田小学校の有効活用を市に働きかける(「考える会」などの発足を検討する)
4	防災	学校の防災訓練への地域住民の積極参加

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	学校の教室や図書室などを使った地域交流スペースの整備 (例:多世代が交流できる7792サロン)
4	公園・緑地	スポーツ公園、競技場、広場などの整備

○「行政主体」&「すぐにできる」

意見なし

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	大学・学生との連携	学生(卒業生含)が内装などのデザイン可能な仕組みづくり (学校を活用するきっかけにつなげる)
3	学校・教育	学校に必要なものの整備 (冷暖房、コタツ、エアコン、扇風機、ネット環境など)
4	交通インフラ	圏央道へのバイパス道路の整備
		八王子みなみ野駅への多摩モノレールの延伸★ 主要道路以外を通るコミュニティバスの整備
5	産業振興	主要なエリアでのスーパーや道の駅等の整備・誘致
	企業(誘致、支援、連携)	八王子みなみ野駅付近へのショッピングモールの誘致 みなみ野全体コミュニティの場の設置

校区の特徴

- 若年層にもっと地域に関わってもらいたいという意見があった。
- コミュニティの場として学校を活用するため、地域主体での運営手法を考えようという声が多かった。
- 暮らしの環境の充実のため、交通インフラや買い物環境の整備を求める意見があった。